

平成 30 年 10 月 31 日



各 位

会 社 名 株式会社 IMAGICA GROUP  
代 表 者 の 役 職 氏 名 代表取締役社長 塚田 眞人  
(コード番号：6879 東証第一部)  
問 合 わ せ 先 取締役執行役員 森田 正和  
T E L 03-6741-5742

### 業績予想の修正、特別利益の計上及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成30年7月31日に公表いたしました平成31年3月期通期連結業績予想及び配当予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

(1) 平成 31 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	93,000	1,750	1,650	1,100	24.7
今回修正予想(B)	90,000	500	500	700	15.9
増減額(B-A)	△3,000	△1,250	△1,150	△400	△8.8
増減率(%)	△3.2%	△71.4%	△69.7%	△36.4%	△35.6%
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期)	91,351	2,424	2,424	2,937	65.98

#### (2) 修正の理由

上期の業績については、本日公表いたしました「平成 31 年 3 月期 第 2 四半期決算短信 1. 当四半期決算に関する定性的情報」に記載の通りですが、下期以降の見通しについては以下のとおりです。

映像コンテンツ事業において、劇場アニメーション作品及びTVアニメーション作品の制作コストが当初見通しより増加したこと、また映像制作サービス事業においてTVテレビ番組の改編によるポストプロダクションサービスの受注が減少したことにより売上高と営業利益が減少する見込みです。

メディア・ローカライゼーション事業は、下期において欧州向けローカライズサービスの売上高と営業利益が減少する見込みです。

経常利益についても、営業利益減少の影響により、当初見通しを下回る見込みです。親会社に帰属する当期純利益は、特別利益として投資有価証券売却益を計上するものの、経常利益減少の影響により、当初見通しを下回る見込みです。

2. 特別利益（投資有価証券売却益）の計上について

当社が保有する投資有価証券を売却したことにより、次のとおり投資有価証券売却益を計上いたします。

売却株式                    上場有価証券    1銘柄  
 売却期間                    平成30年9月28日  
 投資有価証券売却益    369百万円

3. 配当予想の修正について

(1) 平成31年3月期通期配当予想数値の修正（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 10.00
今回修正予想	—	0.00	—	5.00	5.00
当期実績	—				
前期実績 (平成29年3月期)	—	0.00	—	10.00	10.00

(2) 修正の理由

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要事項の一つと位置づけ、配当につきましては、連結業績に応じた利益配分を基本とし、連結配当性向の目標を30%とし、安定した配当の維持と配当水準の向上を目指しております。

この方針のもと、平成31年3月期の1株あたり配当金については、10円と予想しておりましたが、上記業績予想の修正に伴って、1株あたり配当金予想を5円に修正いたします。

(注) 上記の業績予想数値は、現在時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な変動要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上